

議会報告会会議録	
1 開 会 日	平成 27 年 5 月 16 日 (土) 午前 10 時 00 分 開会 午前 11 時 30 分 閉会
2 場 所	保健センター 2 階 研修室
3 出席議員	奥津勝子議長 (開会あいさつ) 高橋英俊副議長 (閉会あいさつ) (第 1 班) 関 威國議員 (司会進行) 高橋英俊副議長 (平成 27 年度予算のおもな審査内容について) 竹内恵美子議員 (”) 清水弘子議員 (”) 片野哲生議員 (介護保険条例の改正について) (第 2 班) 二宮加寿子議員 (記 録) 渡辺順子議員 (”) 吉川重雄議員 (会場受付) 三澤龍夫議員 (”) 高橋富美子議員 (マイク設置等) 坂田よう子議員 (写真撮影) 渡辺順子議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	31 人
5 報告事項	(1) 平成 27 年度予算のおもな審査内容について (2) 介護保険条例の改正について (3) 意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、各報告担当議員から予算審査や大磯町介護保険条例の改正についてパワーポイントを使い報告し、質疑応答を行った。

(1) あいさつ・・・奥津勝子議長

議会報告会を開催してから6年目を迎える。今年度は平成27年度予算の審査における議論の経過・結果や介護保険条例の改正について議会としての考え方を報告する。

皆様と自由な意見交換を行いたいと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。質問によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町からの回答は、後日報告させていただく。

(2) 平成27年度予算のおもな審査内容報告

・・・高橋英俊副議長、竹内恵美子議員、清水弘子議員

『議会だより大磯』第177号及び議会報告会資料に基づき、平成27年度予算に対する予算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。

◎主な質疑

問： 議会だより第177号3ページに、平成27年度一般会計の歳出として、民生費、衛生費、教育費、土木費などの記載があるが、具体的にはどのようなものに支出するのか。

答： 歳出は目的別に仕分けされており、例えば民生費については、自立支援給付事業、臨時福祉給付金給付事業、国民健康保険事業特別会計繰出金、介護保険事業特別会計繰出金、子ども・子育て支援新制度運営事業、子育て世帯臨時特例給付金給付事業、児童手当等支給事業、保育園運営事務事業、児童保育委託等事業となっている。

問： 既に、平成27年度の予算が決まっているが、住民から要望があった場合には今年度予算で対応してもらえるのか。また、予算の中・長期的な計画はどのようなになっているのか。

答： 町は、総合計画やまちづくり基本計画に基づき事業を行っているが、それ以外に例えば住民要望が多い場合などは補正予算で対応する場合もある。我々も、議会報告会などで町民の皆さんの意見を吸い上げ、決算特別委員会の場で町に対し指摘をしている。

問： 再生可能エネルギー等導入推進事業補助金を活用して国府支所に太陽光パネルと蓄電池を設置するとのことだが、貯えられた電気は具体的にどのようなものに使用するのか。

答： 普段は国府支所の電気として使用する。蓄電池に電気を貯めることができるため、災害時には抛り所になると考えられる。

問： イノシシに対する鳥獣対策を行っているとのことだが、カラス対策については、町はどのように取り組んでいくのか。カラスがとても増え困っている。町だけで対策ができないのであれば、県と調整し対策に取り組んでほしい。

答： 町に申し伝える。

問： 町税収入が年々減少しているようだが、町税収入減少の要因は何か。また、町は長期的に見て、歳入をどのように確保していこうと考えているのか。

答： 大磯町も人口減少の影響が出始めているというところが町税収入減少の最大の要因ではないかと考えている。町は定住人口の安定化を図るため、交流人口を増やそうと「観光の核づくり」を主力とし、大磯町に遊びに来てもらい、大磯町を見てもらう、その中で定住人口を求めていこうとしている。将来的にも人口3万人を確保したいというのが町の考え方だと思う。

問： 現在の学童保育は利用者がとても多く満杯に感じる。支援員も手一杯で、子ども同士が喧嘩しても見切れない状態だと思う。放課後子ども総合プランで学童保育と放課後子ども教室の一体化が図られるようだが、現在の状態は改善されるのか。一体化により更に利用者で満杯になるようなら、一体化は止めてほしい。

答： 大磯学童の人数が増えていることは承知している。対策を講じるよう町に申し送る。町は、子ども・子育て関連3法に基づき、「大磯町子ども笑顔かがやきプラン」を作成した。冊子を小学校でも閲覧できるよう、町に依頼する。

質： 予算特別委員会での主な質疑を見る限り、町のこれからのあり方をめぐる議論がされていない感じがする。町が行おうとしていること自体を、財源が厳しい状況の中このままで良いか、議会でチェックすべきではないか。町の政策内容を確認するだけでなく、もう一步踏み込んで町の基本的な政策をどうするか、将来をどうするか、問題提起していくことが必要だと考えるが、如何か。

答： 頂いたご意見をしっかりと受け止め、今後の議論に活かしていきたい。

質： 町が行う国民健康保険事業や介護保険事業の内容に無駄がなく有効に財源が使われているのか、もう一步踏み込んで、改善をしてもらうような提案をしていくことが議会としての重要な役目だと考える。議会改革を強化してほしい。

答： 頂いたご意見をしっかりと受け止め、今後の議論に活かしていきたい。

(3) 介護保険条例の改正について報告

・・・片野哲生議員

大磯町介護保険条例の改正内容、審議内容について報告。

◎主な質疑

問： 新聞紙上に、介護保険料の基準月額値上げの記事が掲載されていた。県内市町村の一覧を見ると、大磯町は基準月額 5,500 円で県内で 5 番目に高い保険料となっていた。近隣の平塚市は月額 4,820 円、二宮町は月額 4,450 円となっていたが、この差はどこから生まれたのか、介護サービスの内容に違いがあるのか。

答： 介護サービスの内容に違いはないが、狭間の高齢者にとっては、介護サービスが受け易く、ニーズに応じたケアプランを立てられる土壌が大磯町にはあると聞いている。この 3 年間で予想以上に介護サービスの利用があったため保険料を値上げせざるを得なかったが、町は介護予防に力を入れていることから、今後、介護サービスの利用量が減れば、次回は保険料を下げられるのではないかと考える。

(4) 意見交換

意見交換を実施。

◎主な質疑

問： 自治基本条例町民委員会の位置づけが、町長の附属機関であることを危惧している。自治基本条例のあり方は、自分たちの権利として考えなければならない。駅前駐輪場については、自治基本条例の参画の名のもとに町民委員会が設置され議論が行われたが、町民が出した案を議論すべきであったのに、町が出した案が通ってしまった。今回の見直しの際には、過去の事実を踏まえきちっとしてほしい。

答： 自治基本条例がおかしいのではないかとといった意見も議員から出ている。ご意見は町に申し伝える。

問： 町と社会福祉協議会との間で、話し合いがなされていないと感じることが多々ある。例えば去年、町がボランティア制度をつくった際に社会福祉協議会には話し合いがなかったと聞く。社会福祉協議会との繋がりやの無さはいろいろなところで感じる。ひとつの町に対して、いろいろなことを行っていくには、いろいろなところが、いろいろな立場で力を尽くすことが凄いいことだと思う。

答： 町は大磯町社会福祉協議会を大磯町立福祉センターの指定管理者として指定している。我々は、決算特別委員会にて委託状況等を審査しているが、確かに話し合いという部分では細かいところまで議会ではチェックしていない。様々な場面で話し合いを持つよう、町に申し伝える。

問： 大磯オープンガーデンの開催に合わせ、大磯アフタヌーンティーが行われていたが、とても良くできたパンフレットが作られ、いろいろなところに置かれていた。町と大磯町観光協会、大磯ガイドボランティア協会の連携が凄くよくいっていると感じた。

答： 今後も、町産業観光課、大磯町観光協会、大磯ガイドボランティア協会が、話し合いをしっかりといただき、大磯町を皆さんにPRできるよう、町に申し伝える。

問： 原子力発電の比率を 2030 年度時点で 20%とするエネルギーミックスが発表された。福島第一原子力発電所の事故が収束せず、被災者救済が進まない中、各地で再稼動の話も出ている。万が一事故が起きた場合には、大磯での平和な暮らしも何もかもがズタズタにされる。全国各地の自治体から国に対し意見書が出されているが、是非大磯町議会でもそうした取り組みを行ってほしい。

答： 皆さんの生活が平和のもとに安定していけるよう、議会から国に発信することは地方の義務だと考えている。議会の中で話し合っていて考えていきたい。

意： 町が提案する議案に対し、各議員がどのような意思表示をしたかが採決結果に掲載されているが、余りにも賛成が多すぎるように感じる。議案によっては否決や修正を行うなど、財政状況が厳しい中、あってもいいのではないか。採決結果を見る限り、町長の応援団のように感じる。

意： 今の議会は、一般質問で町政の内容を聞くに止まってしまってる。むしろ、町の行うことについて、ここが間違っていないか、ここを改善すべきではないかといった、具体的な提案、質問、審議をするべきだ。町民の代表として、提案型の質問を行い、町を活性化してほしい。

問： 平成 26 年度第 2 回議会報告会の意見・提言・要望等に対する町からの回答で、「市民活動センター整備について検証していく」となっているが、その後進展はあったのか。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問： 中学校で学校支援ボランティアを行っている。U 字溝の清掃から木の伐採まで自分たちの手で少しずつやれることをやっているが、活動に伴う保険代は P T A 会費から負担してもらっている状態だ。町民の手で、学校や地域を整備していく活動も重要なボランティア活動と考える。ボランティア活動に対する保険を考えてほしい。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

問： 大磯町では介護保険施設等でボランティア活動を行った場合にポイントが得られる制度があるようだが、通常のボランティア活動もポイント制になっている自治体がある。例えば中学生がボランティア活動に参加しポイントをもらうという話を聞いたことがある。そのようなことも重要だと考えるが、如何か。

答： 町に申し送りをし、後日回答をいただくようにする。

(5) 閉 会
